

## 郡山市議会 志翔会 令和2年9月定例会議会報告

### 令和2年9月定例会の概要

令和2年9月定例会は、9月2日に開会し、9月17日の本会議（補正予算等先議）で当局から提案された議案について全て可決し、9月24日から、令和元年度決算特別委員会が開かれ9月29日に、提出された令和元年度決算認定等議案について全て可決及び認定し閉会しました。

### 可決された9月補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染症対策

12億4,018万円

懸案事項の早期解決、新たな行政課題や市民生活の需要への対応など

50億6,207万円

#### ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた医療体制の強化・拡充 (予算額：1億2,974万円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、発熱患者に適切な医療と検査を提供するため、郡山医師会及び病院等医療機関と連携し、2か所目の発熱外来診療所およびPCRセンターを設置します。



#### ・市有施設の感染防止機能を強化 (予算額：5億3,543万円)

「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づく施設改修のうち、飛沫感染や手指感染の防止に効果のあるトイレの洋式化及び自動洗浄化、空調設備改修等を前倒しで実施し、施設内の新型コロナウイルスの感染防止機能の強化を図ります。

**窓口カウンター改修**

密接の解消及び飛沫感染の防止のため、多くの皆さんが利用する市役所本庁舎1階の窓口カウンターの改修を行います。

【市役所本庁舎1階窓口カウンター】

**トイレの洋式化及び手洗いの自動洗浄化等**

ウイルスの飛沫感染や手指感染の防止のため、トイレ及び手洗いの自動水化等を図ります。

- トイレの洋式化及び自動洗浄化
  - 16施設 471箇所
  - 市民文化センター等
- 手洗いの自動洗浄化等
  - 132施設 6,544箇所
  - 小中学校及び
  - 放課後児童クラブ等
  - ※小中学校は1階式化

【トイレ洋式化】

【自動洗浄機】

**空調設備・空調（冷房・換気）設備改修**

密接の解消に配慮した施設内の換気性能の向上に向け、網戸の設置及び冷房・換気設備の改修を行います。

- 冷房設備改修 26施設 57箇所 公立保育所等
- 換気設備改修 3施設 4箇所 郡山駅前ビル1階4等
- 網戸設置・修繕 95施設 1,564箇所 公民館等

（各施設所管課）

#### ・防災重点ため池への水位計の設置 (予算額：3,780万円)

大雨等による越水や決壊等の甚大な被害をもたらす恐れのある防災重点ため池について、その危険性をリアルタイムに把握し、防災・減災につなげるため、水位計等を設置し、市民の安全・安心を確保します。

**防災重点ため池（市管理：94箇所）のこれまでの防災対策**

市が管理する全ての防災重点ため池（94箇所）について「ハザードマップの作成」及び「耐震診断」を令和2年度中に完了する予定

**【新規】防災重点ため池への水位計等の設置**

- 概要 防災重点ため池への水位計及び監視カメラの設置
- 設置数 14池
- 設置理由 風水や決壊等により甚大な被害を及ぼす恐れのある防災重点ため池に設置
- 運用
  - ・水位の常時観測（平常時と豪雨時の水位変化を把握）
  - ・異常な水位の変動の早期確認・対応（緊急放水等）
  - ・下流域の住民への迅速な情報提供

池名	北の地区	南の地区	池名	北の地区	南の地区
1	宮内池	宮内池	1	宮内池	宮内池
2	宮内池	宮内池	2	宮内池	宮内池
3	宮内池	宮内池	3	宮内池	宮内池
4	宮内池	宮内池	4	宮内池	宮内池
5	宮内池	宮内池	5	宮内池	宮内池
6	宮内池	宮内池	6	宮内池	宮内池
7	宮内池	宮内池	7	宮内池	宮内池
8	宮内池	宮内池	8	宮内池	宮内池
9	宮内池	宮内池	9	宮内池	宮内池
10	宮内池	宮内池	10	宮内池	宮内池
11	宮内池	宮内池	11	宮内池	宮内池
12	宮内池	宮内池	12	宮内池	宮内池
13	宮内池	宮内池	13	宮内池	宮内池
14	宮内池	宮内池	14	宮内池	宮内池

【新築に設置されている水位計】

（農地課）

#### ・郡山スケート場の冷凍機等更新 (予算額：8億3,733万円)

建設から約30年経過し老朽化した郡山スケート場冷凍機設備を更新します。更新に際し、自然冷媒を使用し省エネルギー効果が高い機器を導入し、オゾン層の保護や二酸化炭素の排出抑制により環境負荷の低減を図ります。

**更新の必要性**

- ・老朽化による故障頻度の増加・部品供給の停止
- ・冷凍機の使用冷媒（特定フロン）の全廃

**更新内容**

- ・冷凍機10台更新
- ・室内配管、自動制御設備、電気設備等の更新

省エネルギー化による環境・コスト削減効果（12月～2月冬季閉場期間中）

項目	更新前	更新後	削減量
CO2	528.4 t/年	291.3 t/年	237.1 t/年
エネルギー（コスト）	2,242 万円/年	1,236 万円/年	1,006 万円/年

**スケジュール**

発注予定 令和2年12月～2月  
 工事期間 令和3年1月～3月  
 完成予定 令和3年3月

（スポーツ振興課）

#### ・各学校で取り組む感染症対策及び学習保障への支援 (予算額：1億950万円)

小・中・義務教育学校において実施する感染症対策や、児童生徒の学びの保障等の取り組みに必要な物品等を、校長の判断により購入できる予算を各学校に配当し、児童生徒が安心して学べる環境のさらなる充実を図ります。

#### ・こおりやまの食とスポーツの振興～企業版ふるさと納税の活用～ (予算額：3,916万円)

企業版ふるさと納税を原資とした「郡山市地方創生応援基金」を活用し、プロスポーツによる地域振興と農業の6次化による地方創生の推進を図ります。

#### ・公共施設等窓口支払いをキャッシュレス化(予算額：1,723万円)

カウンターレスを目指す窓口業務において、支払いのキャッシュレス化を図ります。

#### ・要介護認定事務にAIを導入 (予算額：386万円)

これまで職員が行っていた要介護認定調査結果の整合性チェックを、全国で初めて、AIの言語処理技術により自動化し、認定の効率性及び正確性の向上を目指します。

#### ・eMAFF(イーマフ)の先行導入 (予算額：137万円)

農業者の利便性の向上と働き方改革を推進するため、県内の市町村に先駆け、「農林水産省共通申請サービス (eMAFF)」の導入を進めます。



# 9月定例会市政一般質問

## 要旨

### エアコン設置補助制度の創設について

**問** 生命の危機にも直結する高齢者の熱中症を防ぐためにもエアコンは家庭での必需品といえる。喜多方市では、65歳以上の住民税非課税世帯を対象にエアコン設置の補助制度を実施している。本市でも同様の補助制度を創設すべきと考えるが。



森合 秀行



**答** 本市において本年4月から8月までに熱中症で救急搬送された方の56.9%が65歳以上の高齢者であり、うち、62.9%が屋内で発症している。このことから、エアコンの設置補助制度については、今後、高齢者世帯のエアコンの普及状況や、ニーズ、他市の補助制度の実施状況等を調査し、検討したい。

### サイクルトレイン実現に向けたJRとの協議について（猪苗代湖を核としたサイクルツーリズム）

**問** 猪苗代湖一周の自転車による観光をしやすいするためにサイクルトレイン（注：ロードバイク等自転車を分解せず持ち込める車両）を実現する必要がある。そこで、磐越西線のサイクルトレイン実現に向け、JR東日本と協議すべきと考えるが。

**答** 磐梯熱海温泉を起点としたルートは、峠越えでトンネルもあり、初心者等には安全性確保の面で課題がある。そのため、サイクルトレインの活用については、解決策の1つになると考える。今後は、他地域のサイクルトレインの観光活用事例を調査・研究した上で、JRとの協議について検討していく。



両国駅（東京）から房総半島を結ぶJR東日本のサイクルトレイン「B.B.BASE」

### 児童生徒に対する活動の制限について

**問** 郡山市青少年会館で強化練習会に参加していた郡山第一中学校合唱部の生徒から、新型コロナウイルスの陽性反応が確認されたが、今回の件が各種部活動をはじめ、生徒たちの活動を制限することに繋がってはいけないと考えるが、当局の見解を伺う。



佐藤 徹哉



**答** 各学校において、令和2年5月22日文科科学省発出の衛生管理マニュアルや、本市の部活動指針及び各競技団体や連盟で公表しているガイドラインをふまえ、可能な限りの感染防止対策を講じながら、部活動をはじめ、児童生徒の活動機会が最大限に保障されるよう支援していく。

### つながりを重視した地域コミュニティの構築について

**問** 新型コロナウイルス感染防止に向けた「新しい生活様式」の重要性は十分認識しつつも、コロナ禍においても、従来のつながりを重視した地域コミュニティの構築は重要であると考えますが、当局の見解を伺う。

**答** 町内会は、地域コミュニティの中核であり、協働のまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしていただいていると認識しており、コロナ禍での町内会活動においては、手洗い、マスク、検温等の「自助」、ソーシャルディスタンス、換気、消毒等の「共助」、町内会活動を支援する「公助」の取組が必要であると考えます。今後においても、「新しい生活様式」に基づいた地域コミュニティ活動についての支援や情報提供に努めていく。

### 市街化調整区域の見直しについて

**問** 本市の市街化調整区域の土地利用についてどのような考えなのか。



川前 光徳



**答** 本市では、一定の要件を満たす区域において、地域コミュニティの維持に必要な新規住民の定住や、小・中学校、鉄道駅、インターチェンジなど、既存ストックの有効活用を目的に、2019年3月に「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」を制定し、現在まで、11件の地区計画の相談を受けている。

また、令和元年東日本台風により、被害を

受けた方々の市街化調整区域への移転許可基準を新設し、現在までに26件の移転相談を受けている。都市活用法の更なる活用により、地域コミュニティの維持活性化、および産業振興を図りながら、持続可能な都市を目指していく。

### 豊田貯水池跡地の利活用について

**問** ザ・モール郡山店側の道路に面した地下にある貯水槽（旧第五配水池）を雨水の貯留施設として利用し、成果を上げているが、なぜ公園にすることが、水害対策になるような、誤解を与えるような回答をしたのか。

**答** 利活用について、本市4月に公表した、旧豊田貯水池利活用方針（案）中間とりまとめでは、下流域の浸水被害の低減や近年の気候変動に対応するため、利活用方針（案）の3つのイメージ図すべてにおいて、自然がもともと持っている力を活用して災害リスクの低減を図る「グリーンインフラ」による雨水の流出抑制機能を提案している。

旧貯水池全体を活用し、透水性舗装、植栽を取り入れたレインガーデン等により、敷地内に降った雨水を緑地に、ゆっくりと浸透させ内水氾濫を抑制するものである。



旧豊田貯水池跡地

### 道路の樹木について

**問** 道路の樹木について、枝張りなどで視界や交通の妨げになっているところが市内各所に見受けられる。運送業の方やバス会社などの運行にも支障があると思うが。道路環境整備に関し、道路の樹木対応についての見解は。



久野 三男



**答** 本市が管理する街路樹のある市道は、186路線、約138kmを有し、その管理を、20の区域に分けて、管理を行っている。街路樹は、都市緑化として温室効果ガスの一つである二酸化炭素の呼吸源として重要な役割を担っていることを踏まえるとともに、車両の運行に支障と



通行の妨げとなっている道路脇の樹木

### 豆知識

### シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。





ならないよう、信号や道路標識等の視認性及び道路構造令等を厳守した高さを確保するなど、年間を通して剪定や除草等を実施している。今後も、一般交通や市民生活に支障を及ぼすことのないよう適期の剪定など引き続き、適正な維持管理に努めていく。

### ▶ 災害への対応等について

**問** 国、県管理の河川の浚渫等について、災害のたびに、国や県に対して強く要望しても、遅々として進まない現状があるが、今後どのように対応していくのか、見解は。

**答** あらゆる機会を捉え、国、県に対し早期の実施を強く要望してきたところである。また、本年8月1日には、復旧状況を視察された赤羽国土交通大臣と郡山中央工業団地会との意見交換会において、県土木部長も出席のもと、早期の実施を要望した。

国は、昨年12月に「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を公表し、河道掘削等を進めているが、現在は、小和滝橋前後が完了し、その上流の西田地区を実施しており、今年度中には、行合橋から下流区間の河道掘削を実施する予定となっている。県においても、本年2月に「福島県緊急水害対策プロジェクト」を公表し、現在、谷田川や逢瀬川の河道掘削および樹木伐採の早期実施はもとより、国に対して強く要望していく。

土砂の運搬先の確保等に協力していくなど、国、県と連携して治水事業を推進していく。

### ▶ 「市場の朝市」の再開見通しについて

**問** 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策の一環として、現在「市場の朝市」は中止となっている。利用者の皆様から再開を望む声が上がっているが、これからの「市場の朝市」の再開見通しについて、当局の見解を伺う。

**答** 本市等における新型コロナウイルスの感染状況を



大城 宏之



再開が待ち望まれる「市場の朝市」

踏まえつつ、毎回数千人の不特定の方が訪れる市場の朝市においては、入場者の体温測定の実施をはじめ、販売時におけるソーシャルディスタンスの確保や、会計の際の接触場面を減らす工夫などの課題も多いことから、再開については、朝市実行委員会の中で慎重に検討していく。

### ▶ 一般家庭用ごみ袋の有料化について

**問** SDGsの達成は、私達一人一人の行動変容と密接につながっていると考える。その様な中でレジ袋の有料化がスタートし、その目的が認知されてきている様に思う。そこで、一般家庭用ごみ袋の有料化について実施すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

**答** ごみの有料化の導入は、ごみの発生抑制や再生利用の促進、市民の皆様の意識改革も期待されることから、ごみの減量に向けた有効な手段の一つと認識しているが、コロナ禍の厳しい社会経済状況を鑑み、引き続き審議会において、実証データ等に基づいて議論いただき、導入するとすれば、様々なプロセスや条件を整備することは勿論、こおりやま広域圏の各市町村の動向や中核市の状況なども参考に多角的に検討し、更なるごみの減量に努めていく。

## 写真で見る志翔会

### 郡山市功労者表彰

9月1日市役所正庁で、市政に多大な功労があった方を表彰する郡山市功労者表彰が行われました。志翔会関連の受賞者として昨年9月で引退された元市議会議員の大内嘉明元顧問が自治功労表彰、30年間に渡る消防団活動で村上晃一議員（1期）が特別表彰（水災・火災等の防護の功労）を受けました。



品川市長から表彰を受ける大内嘉明元顧問、村上晃一議員

### CICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖

10月10日、台風14号が本州へ近づく嵐の中、磐梯熱海スケート場をスタート地点に猪苗代湖を一周する85kmのCICLE AID JAPAN2020in郡山ツール・ド・猪苗代湖が行われました。志翔会からは、会長の川前光徳議員、市監査委員の近内利男議員、広報担当の森合秀行議員が参加しました。非常に強い雨天にもかかわらず、沿道で声援を送る市民の方々、エイドステーションでおもてなしや安全確保のために各ポイントで交通整理をするボランティアスタッフの方々の温かさを感じ3人とも完走しました。今回の経験を踏まえ、コロナ禍で注目されるサイクルツーリズムの普及促進などの政策提言に活かしていきたいと思えます。



最初の給水所である中山エイドステーションにて  
(注)大会当日、非常に激しい雨のために画像も乱れていることをお許しください。

### インターンシップ生の受入れ

9月定例会中、若者投票率向上を目的とするNPO法人ドットジェイピーのインターンシップ生の大学生2人の受入れをしました。今回は、9月定例会一般質問の傍聴や所属議員の活動の視察等をしてもらいました。今回の研修で、市政や地方議会に関する理解を深めることができたのではないのでしょうか。

#### 【インターンシップ生の志翔会での活動の感想】

- 倉光三貴人さん（福島大学1年生）  
インターンに参加する前、議員は遠い存在のように感じていましたが、議会傍聴の活動で志翔会の議員の方々が、郡山市をよりよい場所にしようと奮闘し、郡山市の問題を解決しようと尽力される姿を見て、市民と近い存在だと認識を改めました。  
初めはあまり話すことができませんでした。だんだんと積極的に活動に参加できるようになり、様々なことを学ぶことができました。志翔会の下で議員インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。
- 木村公香さん（福島大学1年生）  
インターンに参加する前と後では議員へのイメージや行政に対する考え方が大きく変わりました。議会傍聴などの活動から市民の声を届けたり、市の向上のため意見したりする姿を拝見し、議員の仕事の様子を学ぶことができました。また、自分の意見や考えをまとめ、伝えることの難しさと大切さを学びました。  
私たちインターン生を優しく明るく迎え入れて下さる議員の方々のおかげで楽しく2ヶ月間の活動を行うことができました。ありがとうございました。



NPO法人ドットジェイピーのインターン生  
左が倉光三貴人さん、右が木村公香さん



# 各常任委員会から：今定例会の審査状況について

## 総務財政常任委員会

請願審査では、国に「再審法（刑事訴訟法の最新規定）」の改定を求める意見書提出の請願といった判断が非常に難しい請願審査などがありました。そのほか、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。粛々と委員会の審査を行いました。

## 建設水道常任委員会

請願審査では、逢瀬川の氾濫の危険性の軽減を図るため、旧豊田貯水池を調整池として活用することを求める請願の審査がありました。請願の審査にあたっては、会派会長である川前光徳議員の今定例会での一般質問にあるように、周辺の土地よりも高いところに位置する豊田貯水池を調整池として活用するのは、当局も認めるとおり技術的にもコスト的に非常に困難であるため、賛成少数で否決されました。

## 環境経済常任委員会

「コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落を阻止するための請願」について審査致しました。様々な意見が出されましたが、採決の結果、部分採択となりました。本会議にて、全事項に対して賛成との討論がありましたが、電子採決により賛成多数で委員長報告の通り部分採択となり、当委員会として、「コロナ禍（新型コロナウイルス感染症）による米需要の減少と在庫増から生じる米価下落を防止するための意見書」を提出し、全会一致で可決致しました。

## 文教福祉常任委員会

今回は、請願審査は無く、当該常任委員会関連の9月補正予算審査、当初予算事業の中からピックアップした事業の進捗状況について各定例会で当局から報告を受けるPDCAサイクルの事業選定などを円滑に行いました。所管事務調査では、各議員が自分の関心のあるテーマなどについて様々な質問をしていました。

また、議会提案で制定された「郡山市自殺対策基本条例」に基づき、平成31年3月に策定された「郡山市いのち支える行動計画」の令和元年度の実施状況と評価について当局から報告を受けました。

## ◆志翔会議員紹介（期数・地区・連絡先・会派役職又は市議会役職・常任委員会）



**村上 晃一**（1期）  
安原町 ☎944-7507  
事務局主任・建設水道  
広聴広報



**森合 秀行**（2期）  
安積町 ☎953-7885  
広報担当・文教福祉  
議会運営  
広聴広報（委員長）



**佐藤 栄作**（2期）  
富田町 ☎932-2780  
事務局長兼政務活動費担当  
環境経済（副委員長）  
議会運営 広聴広報



**佐藤 徹哉**（3期）  
菜根 ☎923-4485  
幹事長兼会派会計  
総務財政・議会運営（委員長）



**川前 光徳**（3期）  
堂前町 ☎922-5265  
会長兼政調会長・文教福祉



**塩田 義智**（4期）  
三穂田町 ☎945-2015  
副会長・総務財政（委員長）  
議会運営



**近内 利男**（4期）  
緑ヶ丘 ☎942-7967  
市監査委員・環境経済



**久野 三男**（4期）  
方八町 ☎943-3200  
副会長・文教福祉（委員長）



**佐藤 政喜**（4期）  
大槻町 ☎951-2316  
顧問（前議長）・環境経済



**大城 宏之**（5期）  
安積町 ☎945-6566  
副会長・建設水道  
議会運営



**七海喜久雄**（5期）  
中田町 ☎922-9587  
市議会議長



**鈴木 祐治**（6期）  
田村町 ☎955-2172  
顧問（元副議長）・建設水道

## 編集後記

日ごとに、涼しくなり過ごしやす季節となりましたが、新型コロナウイルス感染症収束の見込みが立っていない現在、地球温暖化の影響により昨年の令和元年東日本台風のような台風が襲来したらと思うと不安な気持ちになりますが、新しい生活様式の実践や、ハザードマップ等を活用し、避難場所の把握など、改めて普段からの備えが重要だと思えました。私たち志翔会としても、安全・安心なまちづくりの為に更に尽力して参ります。（佐藤栄作）